

真宗カウンセリング 心のつらい方に どう接するか

お見舞いの席やお通夜・お葬式の中で、はたまた被災された方に、私たちはどう接すればよいのでしょうか。昨今注目されている「ケア」とは、何を指し、具体的にどう接してゆくことなのか、私たちが親鸞上人から学んでいる救い（信心）は、ケアの目指すものと同じなのか否か。去る七月二十一日、広島別院で長倉伯博先生（鹿角寛医療センター緩和ケア委員）をお招きして勉強しました。



ワクワク体験第3弾 匂い袋作製体験

長ノ木本坊婦人会企画部のさんの企画で、七月二十七日、長ノ木本坊で、町田育栄（小堀仏壇店）さんのご指導で、匂い袋を作製しました。数種類のお香を混ぜ合わせ、好みの匂い袋をつくりました。私新任職は、夏向きの爽やかな香りのを作り、車に置いて爽快なひと夏を過ごしました。



埼玉から初参式



去る八月一日、勝田将弘七才さん、翔喜（四才）さん、颯人（〇才）さんが、遠く埼玉から西教寺の本尊に、それぞれ入学、入園の奉告、初参式にお参りされました。

被災地へ仮設住宅用生活用品

前号で、仮設住宅で使用する生活用品（ワンセット二〇冊）を呼びかけたところ（主催＝同朋運動を続ける会、たくさん）応募いただきました。梱包作業は、石

橋純誓（門徒推進員）さんご夫妻と濱崎清子（門徒推進員）さん、長岡良高（壮年会）さんが、尽力下さり、段ボールにして合計三十七箱分になりました。同朋運動を続ける会全体で、宮城県亘理町、福島県新地町、栃葉町に三千二百セットを納品しました。

またお預かりした義捐金七万五千円は、同会と真宗（西本願寺）支援ネット北海道に半分ずつ送金し、石油ストーブ支援に使用していただきました。



全戦争死没者追悼法要



毎年八月十五日、長ノ木本坊夜席は、全戦争死没者追悼法要です。今年は、絵本『せかいでいちばんつよい国』（デビットマッキー作・光村教育出版）をプロジェクトターでスクリーンに映し、皆で鑑賞しました。

ある大きな国は、自国が全ての国を支配すれば世界が平和で幸せになると考えて、世界中の国を武力で支配しました。最後に残った武器を持たない小さな国に侵攻すると、意外なことに、

大きな国の兵士たちは、小さな国の国民に大歓迎されます。そして兵士たちは小さな国の食べ物、服、歌遊びを満喫、戦意を喪失してしまいます。大統領が新しい兵士を何度送り込んでも同じでした。大統領は、戦争にもならないちっぽけな国に、多くの兵隊は不要と判断、兵隊を撤退させます。大統領が自国に帰ると、大きな国では、小さな国の食べ物、歌、遊びが国中にあふれ、まるで小さな国のようでした。

武器も使わないのに、小さな国の心が大きな国を覆いつくしてしまい、大きな国は、実質上小さな国になってしまったのです。せかいでいちばんつよい国とは…？、なんだか考えさせられますね。